

児童・生徒のいじめ・問題行動・不登校について

四電 英夫



〔質問〕本市小中学校におけるいじめや問題行動、不登校の実態を伺う。

〔答弁〕「教育専門監」令和5年度のいじめの認知数は小学校18件、中学校4件であり、前年度と比較すると減少している。暴力行為は小学校4件、中学校6件で、前年度より小学校は減少、中学校は増加している。不登校は小学校63人、中学校57人で、小学校は増加傾向、中学校は減少傾向にある。

〔質問〕それらの原因は何か伺う。

〔答弁〕「教育専門監」複数の要因が関係していることから、特定することとはできないが、一般的

に考えられる要因として、不登校は学習のつまずき、人間関係のトラブル、自信が持てないといった自己肯定感の低さ、画一的な教育システムなどの社会的要因、家族関係のトラブルなど、家庭環境の要因が考えられる。

〔質問〕学校、教育委員会ではどのように対応しているか伺う。

〔答弁〕「教育専門監」いじめ防止対策推進法・白石市いじめ防止基本方針に基づき、各学校が組織的に対応している。いじめや暴力行為の早期発見については、日々の健康観察、アンケート調査、児童・生徒との面談を行なっている。教育委員会は、学校からの連絡を受け、適切に助言・指導することともに、学校との協働的対応を行なっている。

〔質問〕保護者に対する対応を伺う。

〔答弁〕「教育専門監」保護者に対する適切な情報提供、相談窓口の案内など、誠実な対応に努めている。教職員のほか、カウンセラー・ソーシャルワーカーなどの専門職も配備している。

〔質問〕こうした事を防ぐために、どのような対応をしているか伺う。

〔答弁〕「教育長」子どもたちが学ぶ環境づくりとして、「温かな学級づくり」「分かる授業づくり」「絆づくり」を意識して進めている。

また、毎年、いじめ防止大会を開催し、市内全校の参加の下、各校での取り組みの紹介をしている。

6月と12月を「いじめ防止月間」、毎月10日を「いじめゼロの日」とするなど、学校・関係機関と連携し、児童・生徒が安全・安心して学校生活が送れるよう努めている。

人事

12月定例会において、次のとおり任命・選任することに同意しました。

〔教育委員会委員〕

（任期：令和6年12月14日～令和10年12月13日）

鈴木 順子氏

〔副市長〕

（任期：令和7年1月1日～令和10年12月31日）

村上 忠則氏

編集後記

寒さが厳しい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。「市議会だより」を手にとっていただき、ありがとうございます。

日々の生活の中で、何気ないことが地域や社会の支えになっていると感じる瞬間があります。「健康が1番身近な社会貢献」という言葉もその一つではないでしょうか。

本号では、市議会で議論されたさまざまなテ

議会を傍聴してみませんか

2月定例会は、2月13日(木)
午前10:00開会予定です。



傍聴のしかた



インターネット中継

※録画配信は、映像の編集を行うため、ライブ配信終了後おおむね5日後（土日・祝日を除く）からご覧いただけます。

<12月定例会>

- 傍聴者のべ人数 29人
- ライブ配信視聴回数 561回
- 録画視聴回数 219回

委員 英由紀 龍彦 秀明 之治 卓也 順子
委員 四電 村上 藤子 森貴 大内 佐久間
議会広報委員会 委員長 佐藤 高森 大角 大内 佐久間
委員 長 村 高森 大角 大内 佐久間
副委員長 佐藤 高森 大角 大内 佐久間
委員 長 村 高森 大角 大内 佐久間
副委員長 佐藤 高森 大角 大内 佐久間

マや取り組みを通じて、私たちの暮らしや地域の未来について考えるきっかけをご提供できればと願っています。どうぞ引き続き、皆さまのご意見をお寄せください。次号もお楽しみに。

議会広報委員会

角 張 大 治